

会員会社自己 PR シート (平成 27 年度)

会員会社名	株式会社 ヤマシタ (ヤマシタ)	150304
住所	〒530-0041 大阪市北区天神橋 5-8-14	
電話	06-4800-4771	
FAX	06-4800-0331	
代表者	代表取締役 中野 岳之	
担当者	工事部部长 大前 好吉	
電話(携帯)	080-3388-9712	
メールアドレス	omae@yamashita1921.com	
ホームページ	http://www.yamashita1921.com/	

主な業種 主要取扱品目	建物解体工事 鉄筋工事 掘削工事 はつり工事 躯体一式工事 アスベスト除去 建築工事一般
建設業許可	国土交通大臣許可 特-26 第20985号 建築工事業 大工工事業 とび・土工工事業 鉄筋工事業 タイル・れんが・ブロック工事業 鋼構造物工事業 塗装工事業 内装仕上工事業
資本金	8,000 万円
従業員数	80 名
主な事業所 (支店/工場等)	本店：東京都港区芝大門 1-5-3 ヤマシタ芝大門ビル 鉄筋センター：大阪府寝屋川市仁和寺本町 1-1-1
主な工事経歴 (当社における)	近鉄本社ビル耐震補強工事 日本生命南館改修工事 ユニチカ貝塚体育館・寮・研修センター遵法化工事 桜橋東洋ビル改修工事 高麗橋事務所 各諸工事
その他	株式会社竹中工務店 株式会社大林組 東急建設株式会社 鹿島建設株式会社 下村建設株式会社 スターツ株式会社

(担当者/大前好吉)



(本社)



【会社の特徴】

大正 10 年 5 月に初代山下新吉が石工事業を主とする山下組を大阪の市岡に創業。創業以来、鉄筋工事、建造物解体工事、重機土木工事等、建築専門工事業一筋に株式会社大林組をはじめ、株式会社竹中工務店、清水建設株式会社等の協力会社として、豊富な経験と優秀な技術力をいかに発揮して参りました。世界恐慌から第 2 次世界大戦に至る激動の時代にも地道な営業を続け、初代山下新吉から引き継いだ二代目の山下常三郎こと中野常三郎が、戦後の焼け野原からの大阪の町づくりに尽力してまいりました。

昭和 36 年 3 月には個人組織を法人に改め、株式会社山下組を設立。その後、日本は高度経済成長期を迎え、吹田市で開催された万国博覧会ではアメリカ館を始め多くの工事を手掛けました。

昭和 46 年に本社ビルを大阪市北区に新築、昭和 47 年 1 月、中野常三郎が勇退、中野隆雄が第三代社長に就任いたしました。さらに、同年 3 月寝屋川市仁和寺に大阪初の鉄筋加工工場であるヤマシタ鉄筋加工センターを開設し、以来、最新の設備による鉄筋の加工及び技術の向上に傾注してまいりました。当時の工事としましては大阪市内では大阪市役所、大阪駅、大阪全日空ホテル、さらには北陸の地にて、大飯、もんじゅの原子力発電所新築工事があります。後の建設業冬の時代、そしてバブル経済と日本の好不況の中、弊社は大阪を代表する多くの建築物を施工してまいりました。平成 3 年 5 月、会社設立 30 周年を期に、CI を実施し、株式会社山下組から株式会社ヤマシタに社名を変更いたしました。バブル期には WTC、関西新空港、南海サウスタワーホテル等ビッグプロジェクトに豊富な労働力を提供しました。

バブル経済の崩壊後も堅実な経営に努め、平成 7 年の阪神淡路大震災の際には、被災地神戸の復興に貢献してまいりました。主な施工として神戸デパート解体工事、甲南大学復興工事、大阪では、大阪ドーム、大阪中央体育館、大阪城平成の大改修、大阪球場解体工事があります。

平成 12 年 2 月、中野隆雄が会長に就任すると共に中野岳之が社長に就任。最近では北浜大阪証券取引所解体工事、甲子園球場リニューアル工事、大阪駅改良工事、新北ビル新築工事、新朝日ビル地上部解体工事、日生東館解体工事、朝日新聞大阪本社ビル解体工事、大阪神ビル・新阪急ビル地上部解体工事、南青山エイベックスビル解体工事、銀座朝日新聞ビル解体工事等を施工し、創業以来 90 余年、数多くのご指導、ご鞭撻をいただき、現在の会社を築いてまいりました。

【得意(主たる)とする業務(工事)の内容】

- ・建物解体工事 鉄筋工事 掘削工事 はつり工事
- ・躯体一式工事 アスベスト除去 建築工事一般
- ・再生コンクリート販売



【現在特に力を入れている事項】

- ① ブロック解体工法による解体施工
- ② 特定活動による海外労働力の活用
- ③ 再生コンクリートの製造及び販売
- ④ 海外建築工事の受注
- ⑤ 海外技術者の受け入れ

